

平成31年度神戸大学工学部第3年次編入学試験 問題用紙
数 学

(平成30年8月22日実施)

(その1)

- 注意1: 答えは各問題ごとに指定された答案用紙に記入すること。
注意2: 本問題用紙は試験終了後に回収するので持ち帰らないこと。

1. $u_1, u_2, u_3, u_4 \in \mathbb{R}^3$ と $W_1, W_2 \subseteq \mathbb{R}^3$ を次のように定める。

$$u_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ -1 \end{bmatrix}, \quad u_2 = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \end{bmatrix}, \quad u_3 = \begin{bmatrix} 1 \\ 3 \\ 2 \end{bmatrix}, \quad u_4 = \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \\ -3 \end{bmatrix}$$
$$W_1 = \langle u_1, u_2 \rangle, \quad W_2 = \langle u_3, u_4 \rangle$$

ただし $\langle u_i, u_j \rangle$ は u_i, u_j が生成する \mathbb{R}^3 の部分空間を表す。以下の各問に答えよ。

- (1) 行列 $A = [u_1 \ u_2 \ u_3]$ の逆行列を求めよ。
- (2) $W_1 \cap W_2$ の1組の基底と次元を求めよ。
- (3) 3次正方行列 B で、 $Bu_3 = 0$, かつ、すべての $u \in W_1$ に対して $Bu = u$ となるものを求めよ。

2. $A = \begin{bmatrix} 2 & 0 & -5 \\ 0 & 2 & 5 \\ -5 & 5 & 7 \end{bmatrix}$ とし、 $x = \begin{bmatrix} x \\ y \\ z \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^3$ に対して

$$f(x) = (x, Ax), \quad \|x\| = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}$$

と定める。ただし (a, b) は a と b の内積とする。また、 $\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3$ を A の固有値とする (ただし $\lambda_1 < \lambda_2 < \lambda_3$)。以下の各問に答えよ。

- (1) $\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3$ と、各 $i = 1, 2, 3$ について固有値 λ_i に対応する A の固有ベクトル u_i で $\|u_i\| = 1$ を満たすものを一つずつ求めよ。また、その u_1, u_2, u_3 について (u_i, u_j) (ただし $1 \leq i \leq 3, 1 \leq j \leq 3$) を計算せよ。
- (2) u_1, u_2, u_3 を (1) で求めたベクトルとし、 $c_1, c_2, c_3 \in \mathbb{R}$ とする。このとき、 $f(c_1u_1 + c_2u_2 + c_3u_3)$ を c_1, c_2, c_3 で表せ。
- (3) $S = \{x \in \mathbb{R}^3 \mid \|x\| = 1\}$ とする。 S における $f(x)$ の最大値と最小値、および、それらを与える $x \in S$ を求めよ。

平成31年度神戸大学工学部第3年次編入学試験 問題用紙
数 学

(平成30年8月22日実施)

(その2)

注意1: 答案は各問題ごとに指定された答案用紙に記入すること。

注意2: 本問題用紙は試験終了後に回収するので持ち帰らないこと。

3. xy 平面上の4点 $P = (1, 0), Q = (3, 0), R = (1, 2\pi), S = (3, 2\pi)$ を頂点とする長方形で囲まれた(境界上の点も含む)領域を D とする. 関数 $f(x, y) = (4x - x^2)(\sin y + 2)$ を考える. 以下の各問に答えよ.

(1) D の内部における $f(x, y)$ の極値を求めよ. ただし D の内部とは D から D の境界上の点を除いた領域である.

(2) D における $f(x, y)$ の最大値と最小値を求めよ.

4. xy 平面の第1象限 ($x \geq 0$ かつ $y \geq 0$ を満たす領域)において, 2本の曲線 $xy = 1, xy = 9$ と2本の直線 $y = x, y = 4x$ で囲まれた領域を R とする. 以下の各問に答えよ.

(1) R の概形を書け.

(2) 変数変換 $x = \frac{u}{v}, y = uv$ により R と1対1に対応する uv 平面の第1象限 ($u \geq 0$ かつ $v \geq 0$ を満たす領域)に含まれる領域 S を求め, S の概形を書け.

(3) (2) の変数変換を用いて, 次の重積分の値を求めよ.

$$\iint_R \left(\sqrt{\frac{y}{x}} + \sqrt{xy} \right) dx dy$$